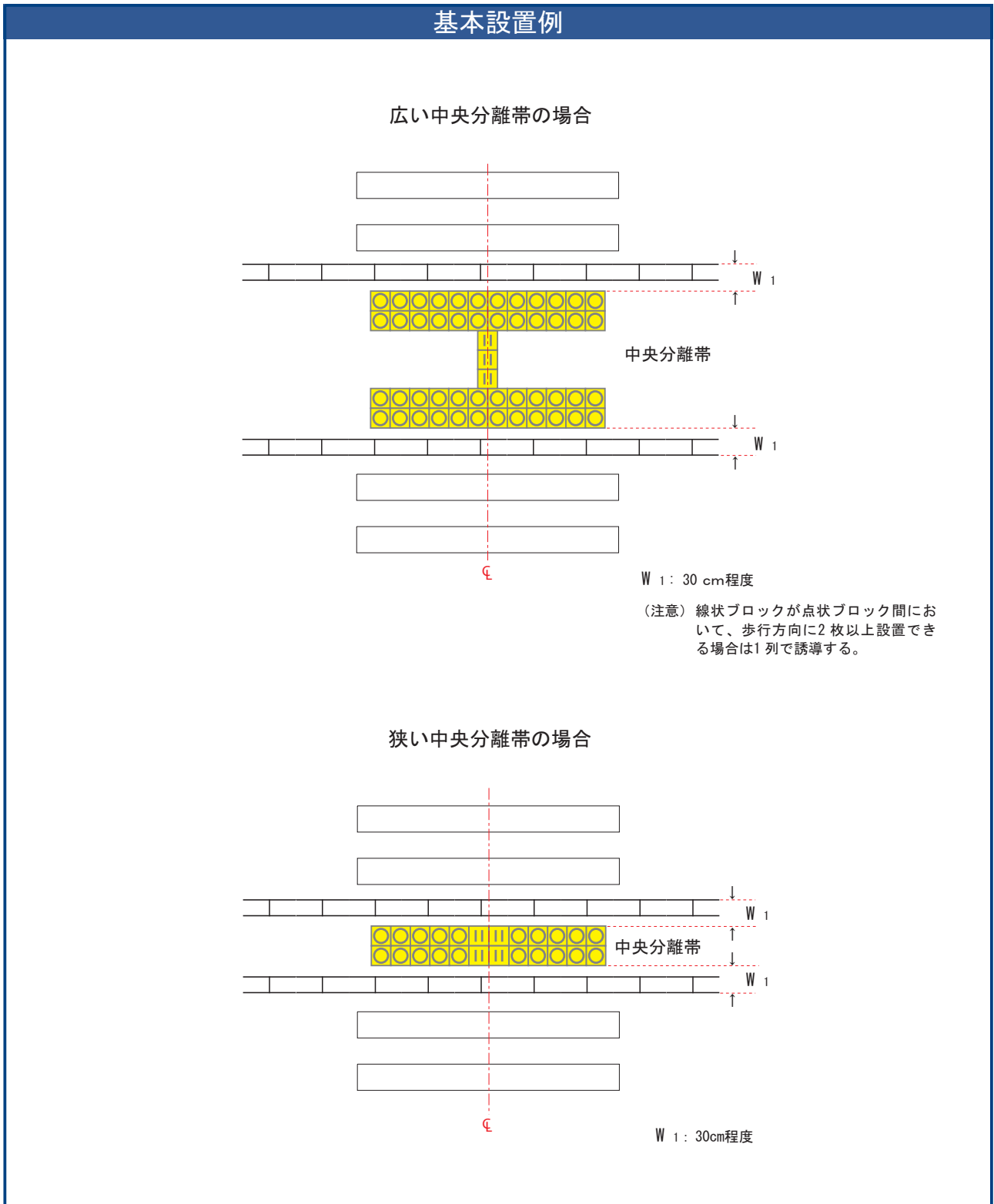


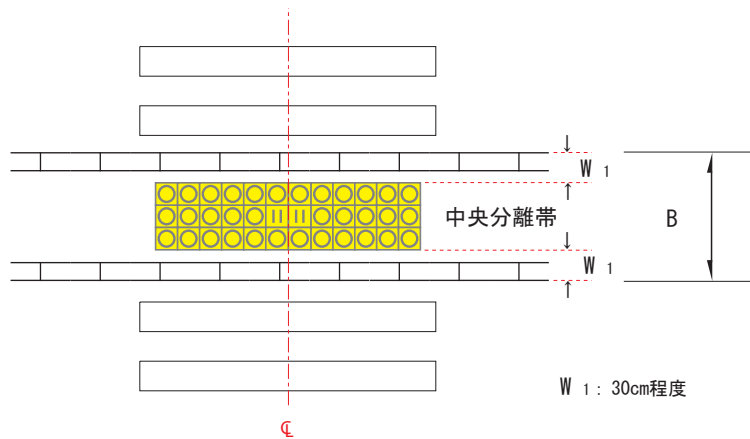
3 中央分離帯の設置例

中央分離帯には、横断歩道の幅を示す点状ブロック、歩行方向及び横断歩道の中心部を示す線状ブロックを設置する。

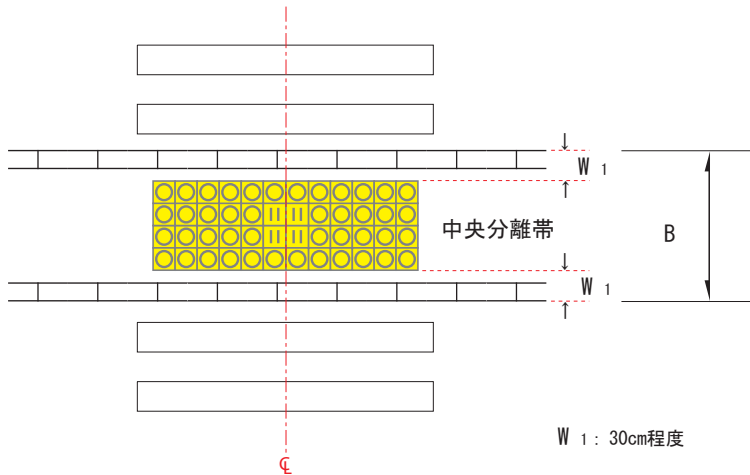


中央分離帯の不定形な設置例

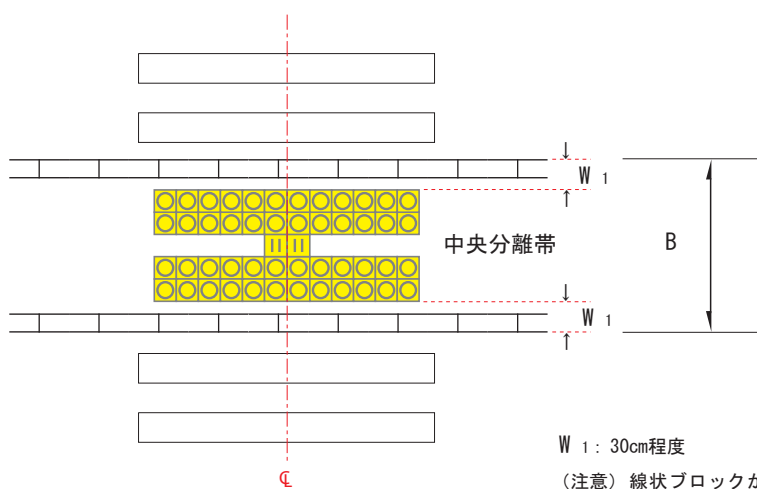
ア 中央分離帯の幅員 $B=1.50\text{m}\sim 1.80\text{m}$ 程度の場合



イ 中央分離帯の幅員 $B=1.80\text{m}\sim 2.10\text{m}$ 程度の場合



ウ 中央分離帯の幅員 $B=2.10\text{m}\sim 2.40\text{m}$ 程度の場合



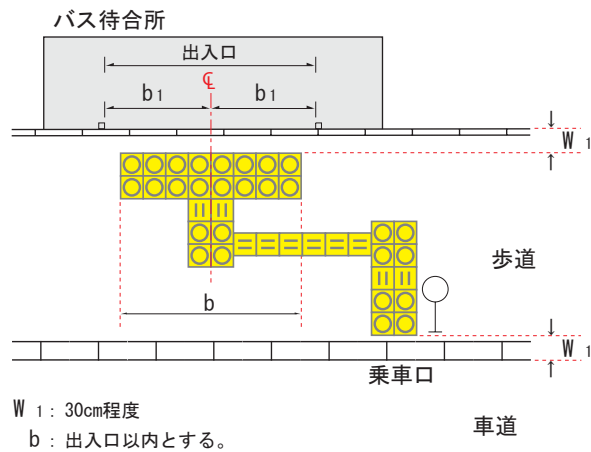
(注意) 線状ブロックが点状ブロック間において歩行方向に1枚しか設置できない場合は、並列2枚で誘導する。

関連法令

視覚障害者誘導用ブロック設置指針・同解説

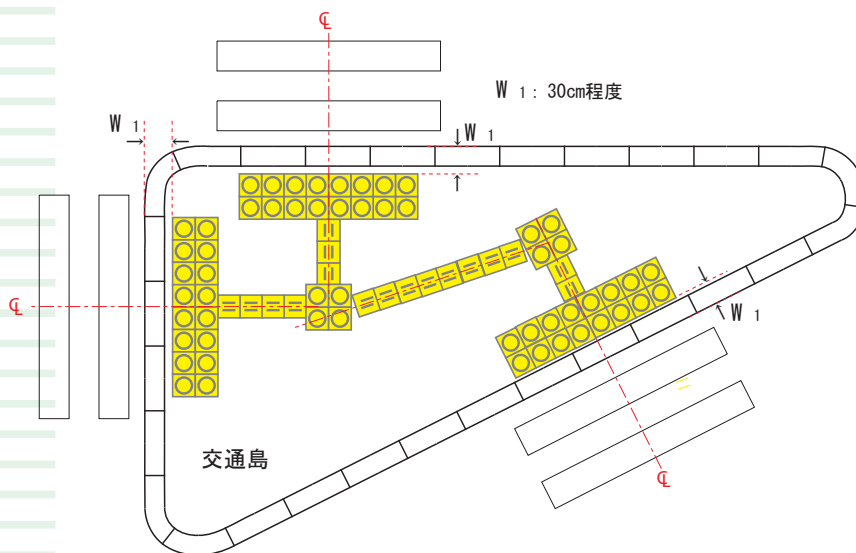
バス停留所の不定形な設置例

バス乗降口とバス待合所の間を誘導する設置例



交通島の不定形な設置例

横断歩道の位置が離れている場合の設置例

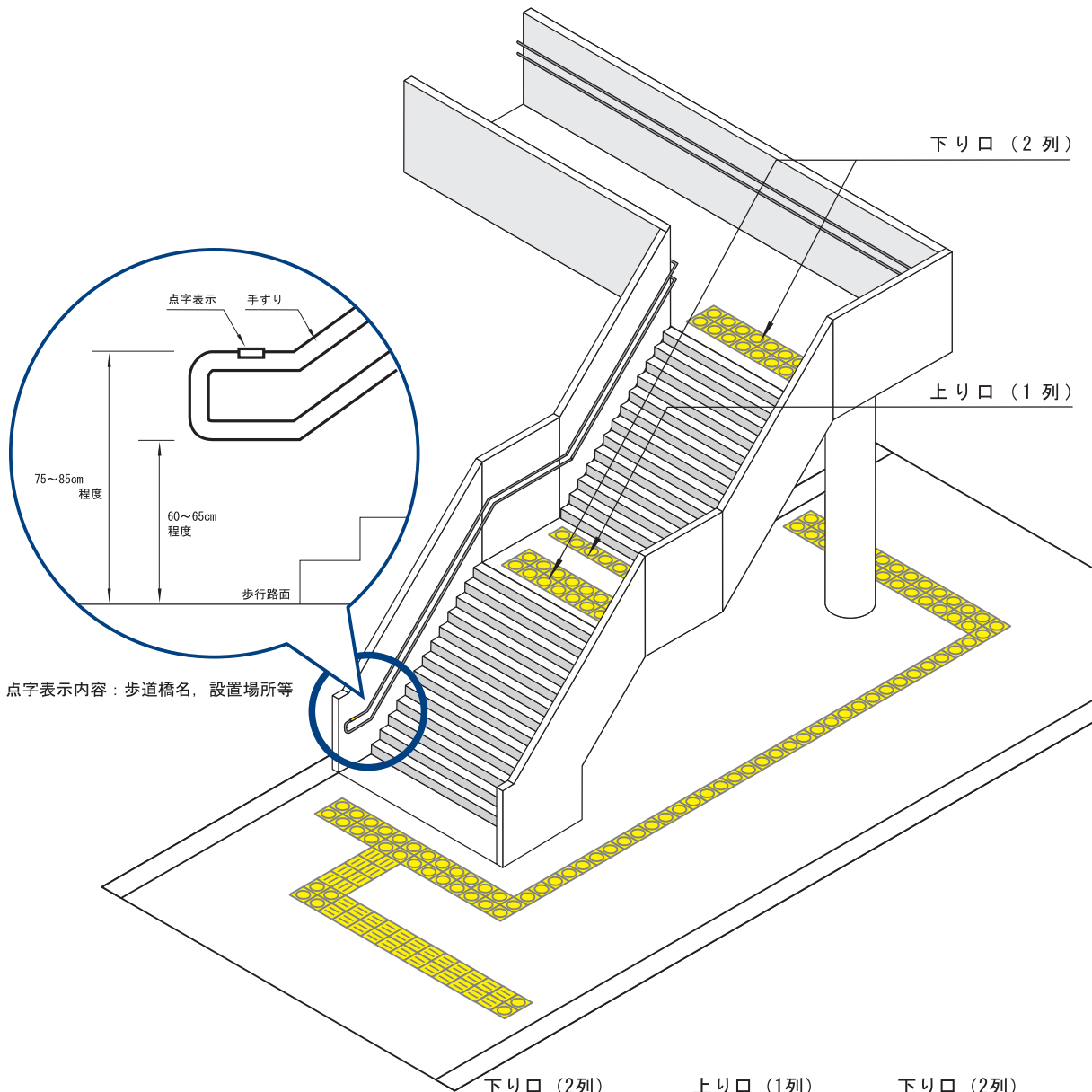


関連法令

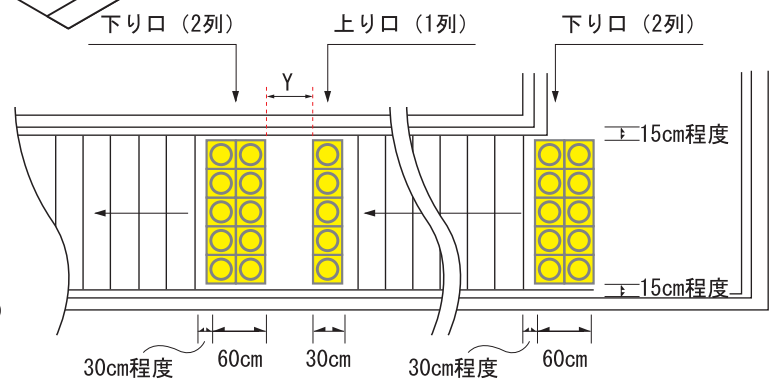
視覚障害者誘導用ブロック設置指針・同解説

6 立体横断施設の設置例

基本設置例



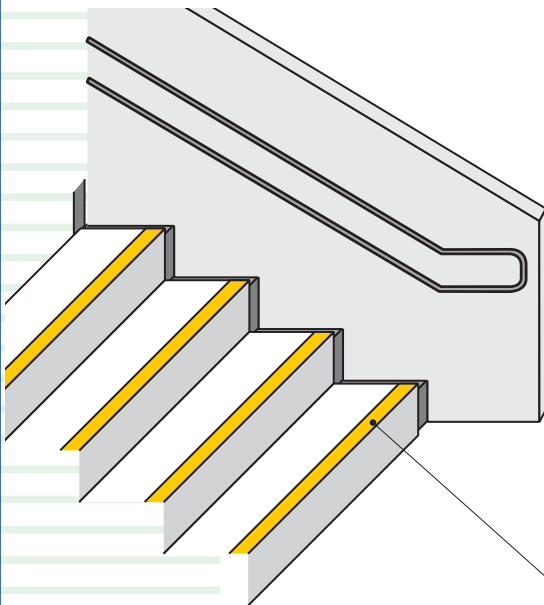
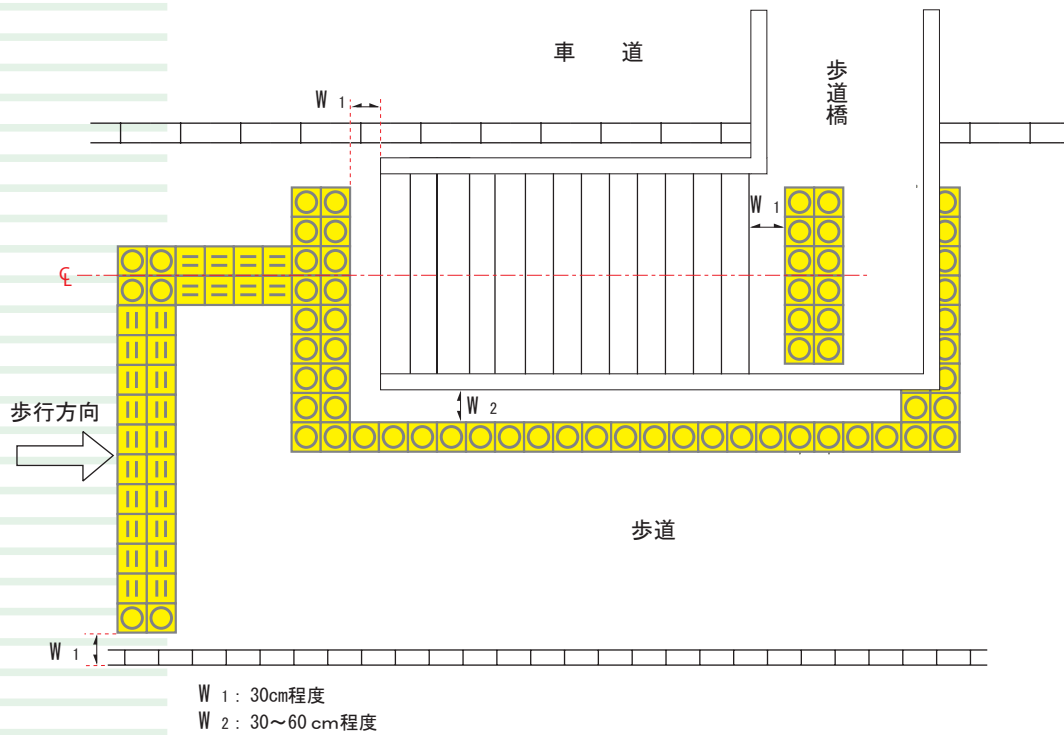
点字表示内容：歩道橋名，設置場所等



(注意) Y については、50cm以上確保する。
ただし、確保できない場合は、上り口を省略してよい。(下り口は2列配置とする。)

6 立体横断施設の設置例

基本設置例

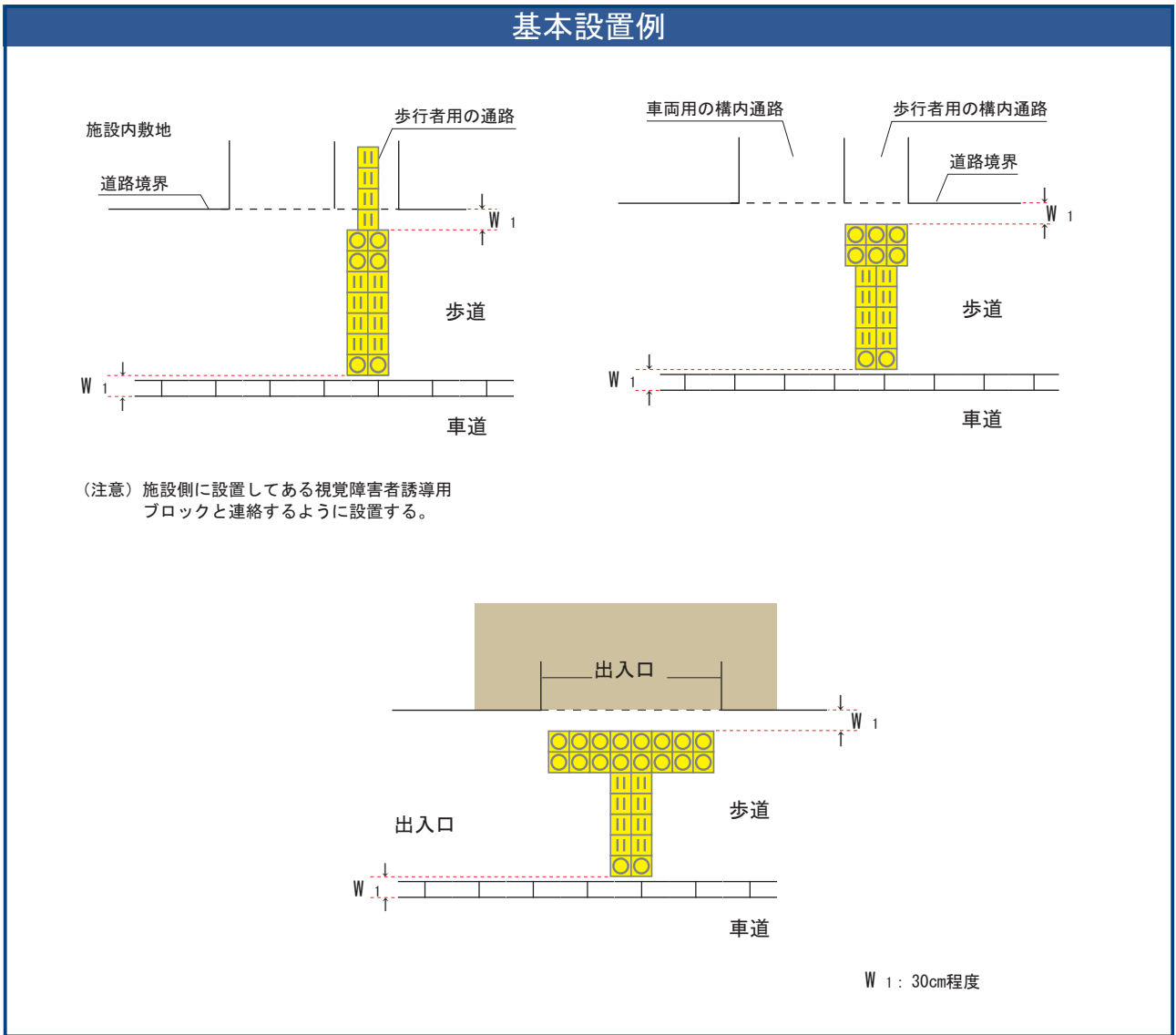


階段：ノンスリップは明度差の大きい色で識別しやすくする。(黄色)

関連法令

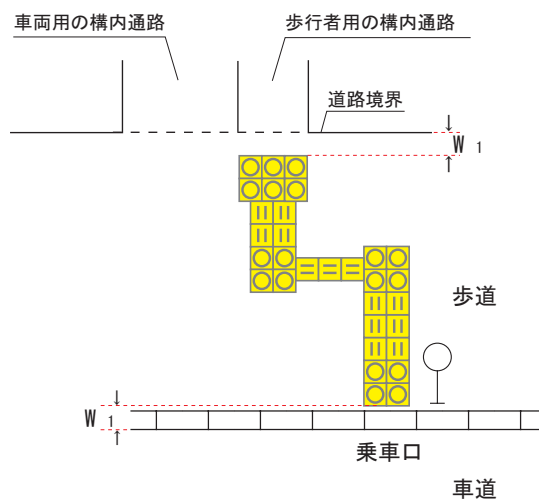
視覚障害者誘導用ブロック設置指針・同解説

7 施設等入口部の設置例



施設等入口の不定形な設置例

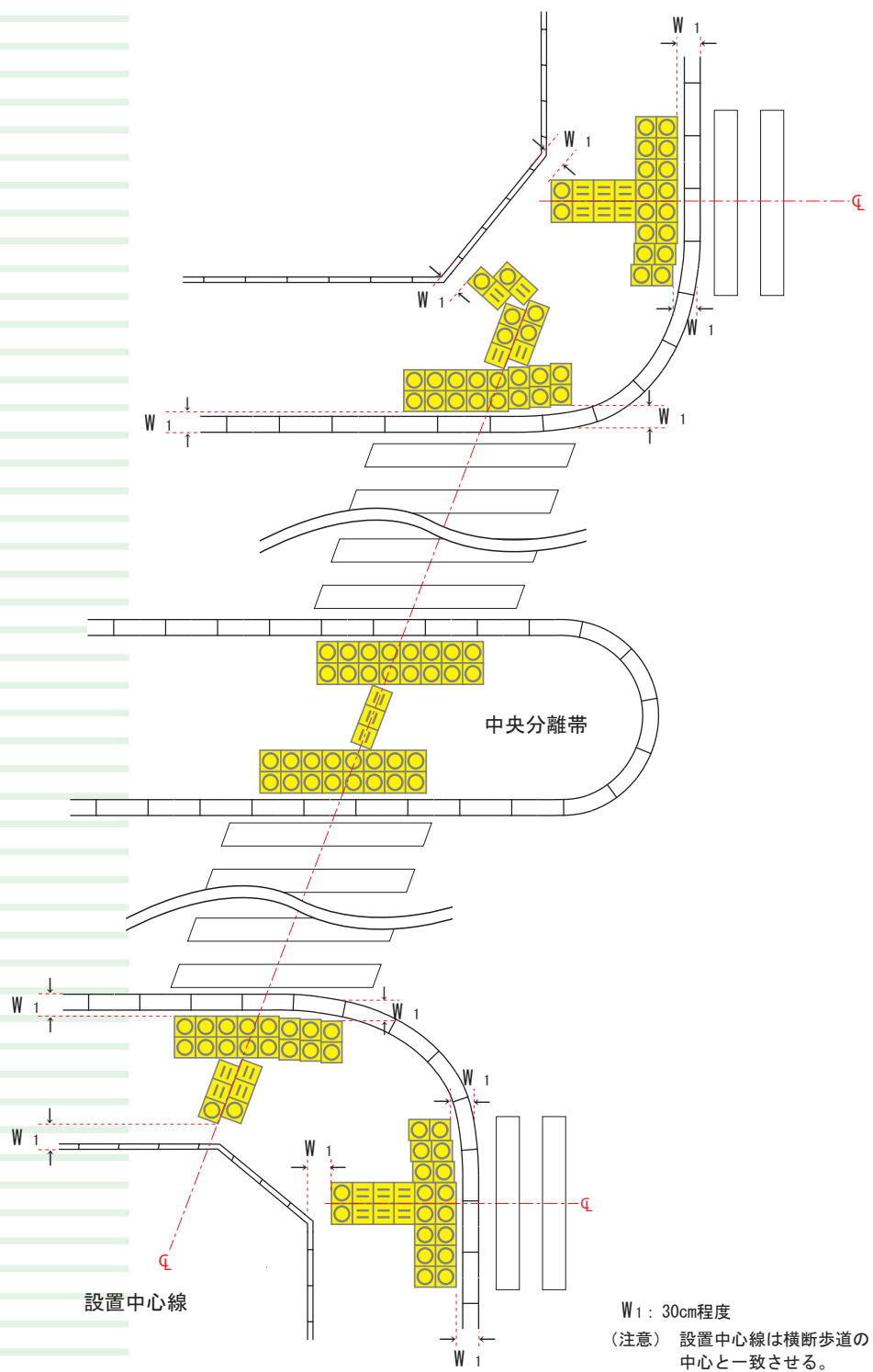
施設等入口部からバス停部までの間を誘導する設置例



(注意) バス停、タクシー乗車口には点状ブロック4枚設置する。

8 その他の不定形な設置例

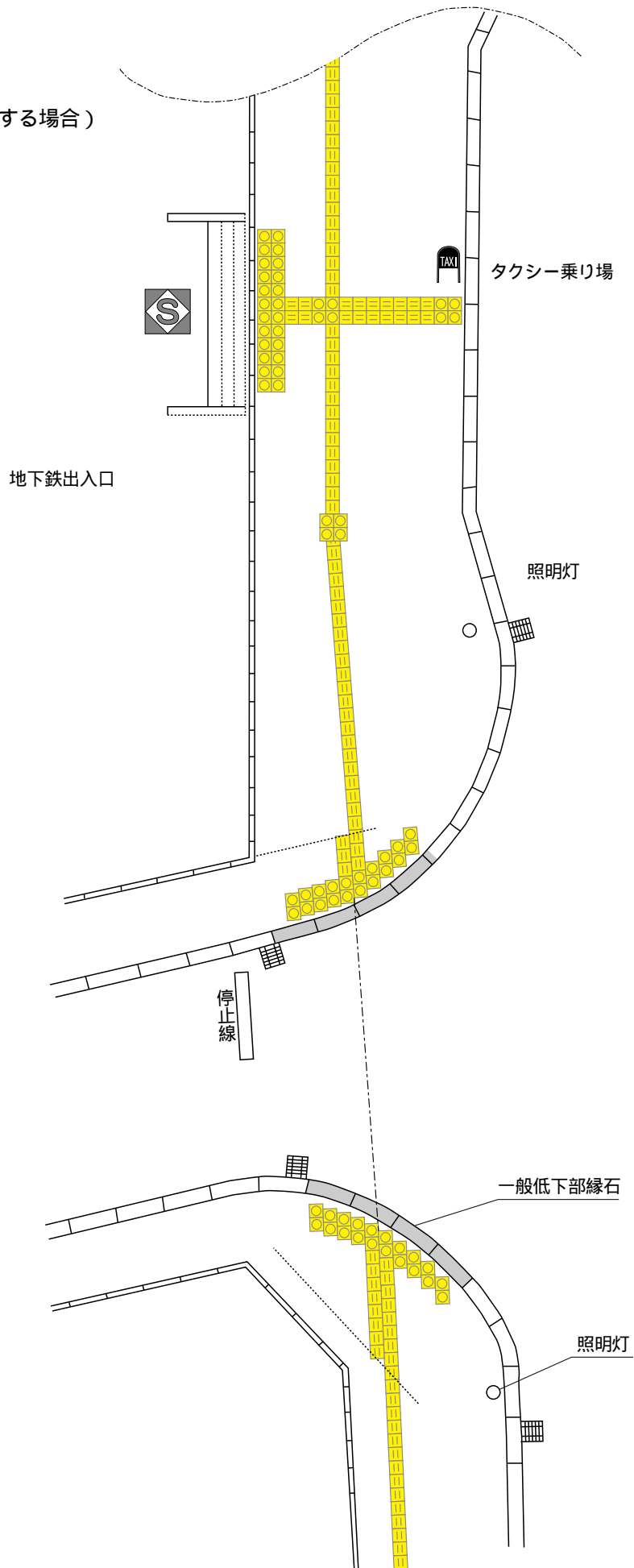
ア 中央分離帯のある変則交差点の設置例



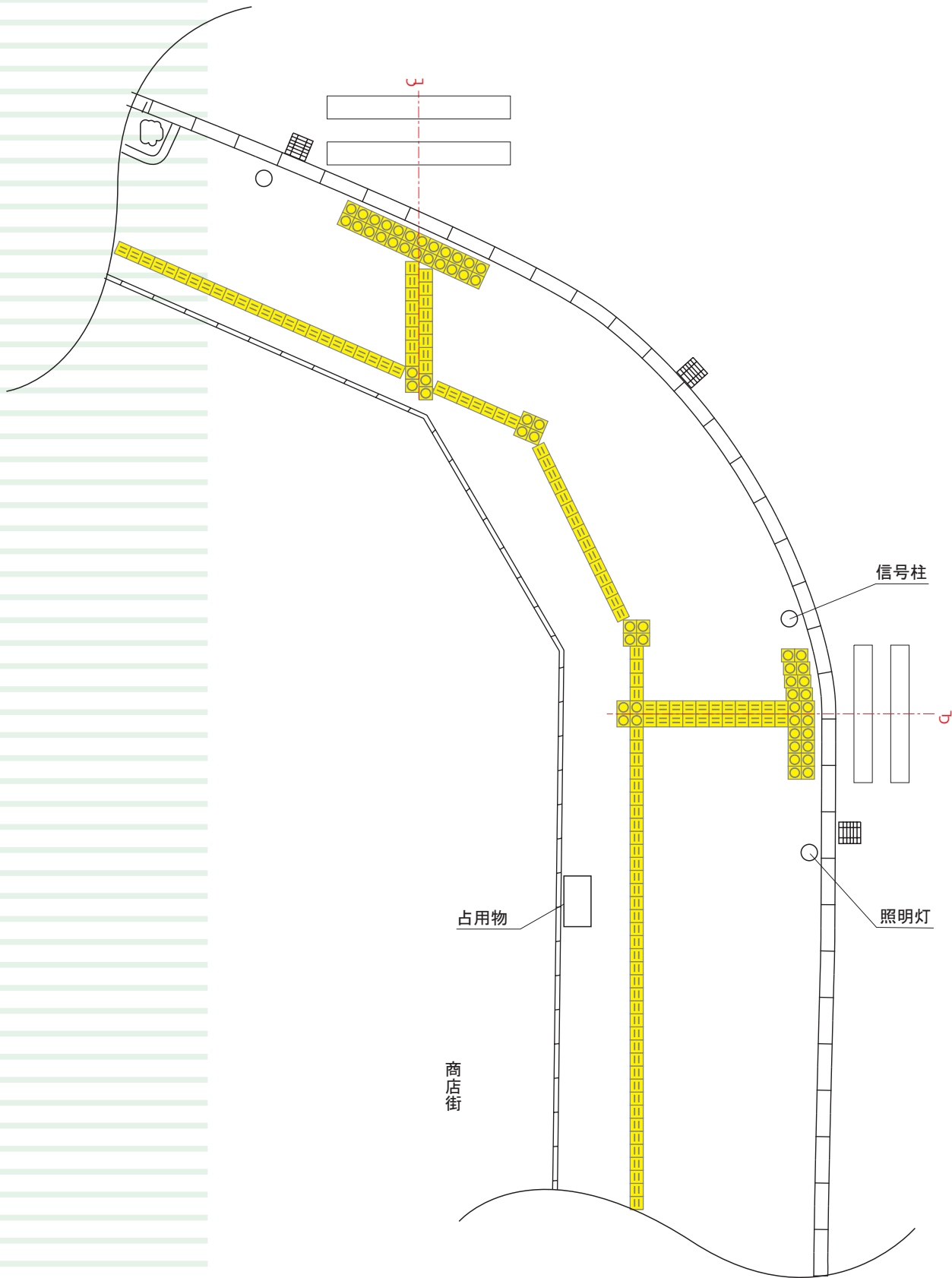
関連法令

視覚障害者誘導用ブロック設置指針・同解説

イ 地下鉄出入口の設置例
(継続的歩行経路を案内する場合)



ウ 交差点周辺の設置例 (継続的歩行経路を案内した場合)



関連法令

視覚障害者誘導用ブロック設置指針・同解説